

《例会山行報告》

柳生街道（滝坂の道）

日時 2023年10月8日（日）曇後雨
参加者 CL I井 SL K林 N村（久） H浦（記録）
コース 近鉄奈良駅＝忍辱山円成寺 9:50～峠の茶屋 11:15～石切峠 11:20～地獄谷
石窟仏 12:05～ドライブウェイ脇でランチ 12:15～首切地蔵 12:50～志賀
直哉旧居 13:45～近鉄奈良駅 14:50

曇り空の中、忍辱山（にんにくせん）バス停下車。

円成寺を通過して石畳道、墓地を通り山道に入る。木々の隙間からたまに薄日もさして気持ちが良い。歩くのに丁度いい気温。誓多林の集落には清潔なトイレもありました。

峠の茶屋は、1か所、戸が開いて電気も付いて敷いてある布団も見えるが人の気配なし、少し怖い。石切峠で、倒木の為通行禁止と書いてありましたが、ダメ元で入る。

切立った両面の壁に丈のある苔がびっしりと生えている。その間の階段を降りて行く。そこだけが別世界のよう。橋を渡ると現実世界で川沿いにあった道はやはり無くなっていて、違うルートで本来の登山道に戻る。地獄谷石窟仏前のベンチでお昼にしようとしたが、雨がポツポツと降ってきたので少し進むと、止んで来たのでドライブウェイ脇の階段で縦1列、行儀良くランチタイム。首切地蔵に着く前に、また降り出したのでカッパの上だけ着用。首切り地蔵の休憩所を過ぎると石畳で、滑らないよう慎重に。朝日観音、夕日観音、寝仏を見て一般道に、今まで見なかった鹿があちこちに出没。志賀直哉旧居は贅沢な造り、庭が3つも。でも9年しか住んで無いそうです。勿体ない。後は春日大社、興福寺を通り抜け近鉄奈良駅へ、山道は小雨で情緒ある街道歩きが出来ましたが、春日大社の鹿の臭いはちょっときつかった。

（H浦）

一口感想

峠の茶屋が営業しておらず、でも一枚だけ雨戸が開いていて電灯もついていて、のぞいたら板の間に、ついさっき人が起きだしたいな布団が敷いてあって、古い映画のなかにタイムスリップしたようでした。

最後に立ち寄った志賀直哉旧居は、ほれぼれする素敵なお屋敷でした。

街道と茶屋と志賀直哉・・・面白かったです (K 林)

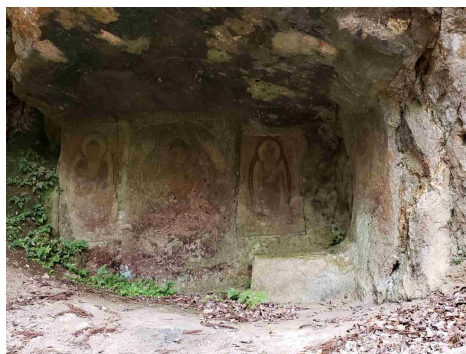
雪陵会に入会して初めての参加がこの柳生街道でした。

石畳の古道やシダで覆われた川沿いの道、春日大社の原生林の道など美しい景色の中を歩きながら自然と気分が上がって来ます。

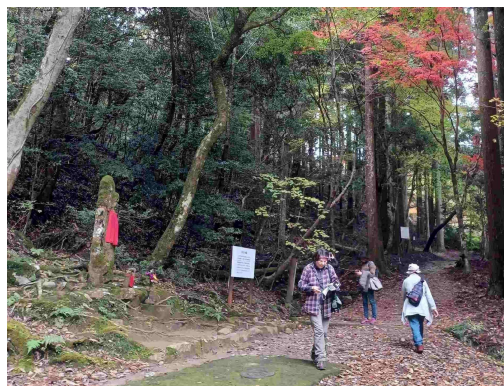
途中道が険しい所がありました、引返すのかなと思っておりましたら、さすが経験値の高い方々が多く地図を見ながら平気でどンドン進んで行かれ何事も無く通りきり、これが読図ってものなのかと感心しきりでした。

静かな林間の道から大路に出ると急に観光客で溢れた道となりその対比も面白かったです。 (N 村)

円成寺の紅葉はまだ早く、でも池のほとりの青モミジがきれいでした。歩く道は、ほとんどが樹林帯の道で、時折舗装路もあり、石畳もありで、変化に富んだものでした。地獄谷石窟に行く途中で、道が途絶えており、少し山の方に入りましたが、すぐに元の道に戻れて一安心。 (I 井)



地獄谷石窟



首切り地蔵